

四間道 (あいちけん なごや しげみち)

名古屋に出張したら、早めに行くか、仕事を早く終わらせて、ちょっと「四間道」に立ち寄りましょう。名古屋駅から歩いて20分のところに、300年前の街並が隠れています。

名古屋城下を流れる堀川の西、江戸時代の初め(1610)名古屋城築城とともにつくられた商人の町。

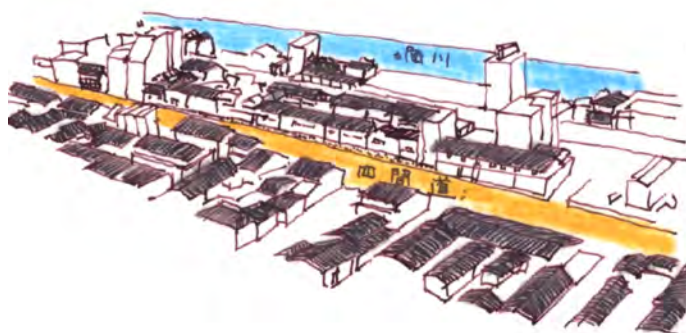
四間道は、元禄13年(1700年)の大火の後、防火と商業活動を重視して、道路幅を四間(約7メートル)に広げたことから、その名前がついたといわれています。石垣の上に建つ土蔵群と、軒を連ねる町家が並んでいる現在の景観は、元文年間(1740年頃)に形成されました。

古い建物をリノベしてオシャレなフレンチやカフェに再生した店があつて華やか。その一方で、昔ながらの町家が並んでちょっとくたびれた雰囲気もあり、大衆的な雰囲気を醸し出す喫茶店やきしめん屋があつてバラエティ。

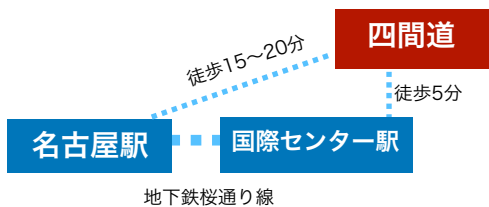
ゆっくり歩いて、ランチしたりお茶したりしても2~3時間で足ります。きっと「ちょっと寄ってよかった」と思うことでしょう。



四間の道に300年の歴史が集う 名古屋 四間道



名古屋駅から徒歩20分の「ついでの旅」



大都会・名古屋でこんな歴史スポットが、ほんの近くに隠されているとは驚いてしまいます。そのタイムトラベルを楽しむためには名古屋駅から歩きましょう。ランチでもディナーでも古民家再生レストランやカフェでオシャレに楽しむことができます。私は二度訪れましたが、1回目は地元のニオイを感じようと、きしめんの浅田屋でミソ煮込みうどん。2回目はグルメ仲間と一緒にだったので、リノベカフェでランチ。どちらも四間道で変わらないギャップが四間道の特長。大阪の富田林のように特別な場所ではなく、普通なのに歴史がみえる不思議さが四間道の魅力なのです。

名古屋駅(地元では「めいえき」と呼びます)東口を出て桜通を栄方面にまっすぐ歩き、「桜橋」の手前を左に入れば四間道。

15分~20分で着きますが、地下鉄を利用する場合は桜通り線の国際センター駅で下車。四間道まで徒歩5分です。

四間道 <https://www.nagoya-info.jp/shisetsu/>



ミソ煮込みうどん



軒を連ねる町家



土蔵をリノベしたカフェ